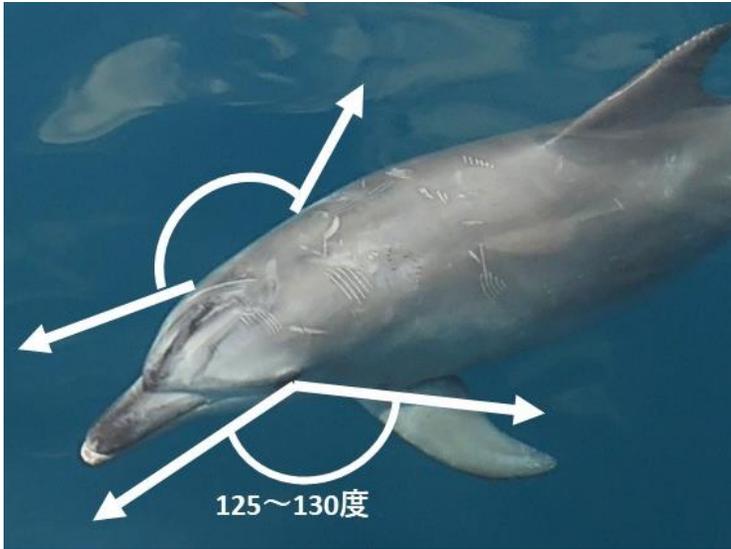




ここにいるから

Vol.08

発行 2021.2.1
発行者 天草イルカラボ
Mail info@dolphin-lab.com



125~130度

イルカの基礎知識 眼



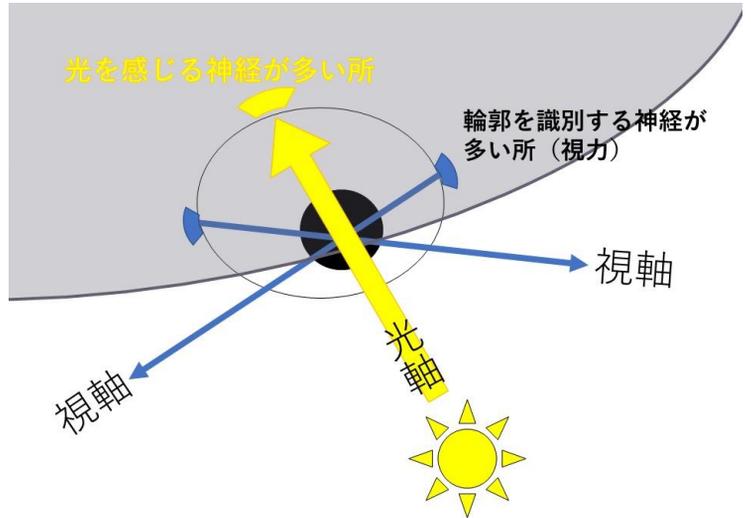
今回は視力についての雑学です。イルカたちはどんなふうに見えるのでしょうか。

イルカは人間の視力検査にたとえると、**視力は0.1**程度と言われています。視野は左の写真程度ですが、実際には眼球を水平方向にも垂直方向にも動かす能力が発達しているため**300度**、**ほぼ丸ごと周囲を見る**ことができるようです。頭頂部と自分の真後ろというごく限られた部分が死角とされています。また、水中においては真正面を「見て」いるので前方は死角なしと考えてOKです。

イルカたちは前方に早いスピードで泳ぐため、目を体の横に配置することで、視野が広がるだけでなく、眼球へ直接摩擦が生じることを防いでいます。

右の図のように、視軸(視線)が2方向にあることも、特徴です。これで後方も前方と同じような視力で認識することが可能となります。

明暗の識別は夜行性動物の機能に似て、暗いところのほうがより優位になるような神経細胞が配置されています。水中はその深さ、密度、成分、障害物、さらには時間によって光の影響を受けやすい環境です。水中生活で身を守ったり、餌をとったり、潜るために、暗い所が見やすいように進化したと考えられています。



◎ ひろみコラム

イルカ目線も含めて「顔」が大好きです・・・でも、船上から写真を撮るのは至難の技!かわいなお顔を撮りたい人は、イルカが水中で、体を横に傾け、片目でこちらを見上げるときもシャッターチャンスだよ!



つうじま

イルカ業界とSDGs

イルカウォッチング事業は、世界中で行われている観光事業のひとつです。今後ますます観光事業もSDGsへの取り組みが必須となっていきます。環境への配慮なしでは事業は必ず衰退します。地域によってルールなどは様々で世界共通の基準はありませんが、「持続可能な観光」「責任ある観光」というビジョンが示されるようになりました。地域経済の循環、文化の継承、自然との向き合い方など、天草でも新しい時代においづくようにアップデートが必要です。

記事や活動についてのお問い合わせ

天草イルカラボ
amakusa_dolphin

検索

